

i:VIRT

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後は、必ずいつでも見られるところに保管してください。

TR-NW001

# はじめに

このたびは、シチズン「i:VIRT（アイ - ヴァート）」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、Bluetooth によってお手持ちの携帯電話・PHS と通信し、着信を光と振動と画面表示でお知らせする機能を持っています。本製品は音を出さないため、本製品で着信を確認すれば公衆マナーを守ることができ、また着信を見のがすことも減らせます。携帯電話・PHS を活用するあなたにとって有能なパートナーとして、末永くご愛用ください。

- 本製品は、日本国内専用モデルです。日本国内のみでご使用ください。時計の表示は日本語のみです。
- 本製品は充電式の時計です。ご使用前に、充電(⇒ P26)と時計をリセット(⇒ P67)していただき、本製品の機能を十分に発揮できる状態にしてください。
- 本製品との接続が確認されている携帯電話・PHS については、シチズン i:VIRT ホームページ (<http://citizen.jp/ivirt/>) をごらんください。
- 本製品の Bluetooth による通信機能は、本取扱説明書に記載されている機能にのみ使用することを目的として設計されています。その他の目的にはご使用にならないでください。
- 取扱説明書に不明な点がございましたら、「シチズンお客様時計相談室」(⇒ P82) までお問い合わせください。

# もくじ

安全のために	6	各部の名称とはたらき	21
使用上およびその他のご注意	14	ベルトの調整方法	22
個人情報の保護について	14	画面表示について	24
パスキーについて	14	画面表示のみかた	24
その他	15	表示を切り替える	24
商標およびライセンスについて	15	有機 EL ディスプレイについて	25
Bluetooth について	16	充電する	26
Bluetooth の概要	16	設定モードの選択	30
Bluetooth のご注意	16	時刻と日付を設定する	31
Bluetooth の周波数について	17	うるう秒について	33
本書の見かた	19		
本製品の構成	20		

アラームを設定する -----	34	携帯電話・PHS と接続する -----	47
アラーム通知動作 -----	35	携帯電話・PHS に本製品を登録する-----	48
アラームの ON/OFF を切り替える -----	36	再接続について -----	51
アラームの時刻を設定する -----	36	携帯電話・PHS と本製品の接続を解除する--	51
携帯電話・PHS から本製品の登録情報を削除する--	51		
プロフィールを設定する -----	38	電話帳を登録する -----	52
ペットネームを設定する -----	39		
パスキー、パスキー・ロックの使用 /		電話帳の内容を見る -----	56
不使用を設定する -----	42	電話帳を消去する -----	59
電話着信時の発信者名の表示 / 非表示			
を設定する -----	44	携帯電話・PHS の着信に対応する---	60
着信操作の簡易 / 拡張を設定する -----	45	着信したときの表示 -----	60
着信に対応する -----	61		
パスキーを入力する -----	46		

着信履歴を見る -----	63	保証とアフターサービスについて -----	76
着信履歴を表示する -----	64	初期設定一覧 -----	78
着信履歴を消去する -----	65		
設定をリセットする -----	67	仕様 -----	80
時計をリセットする -----	67	お問い合わせ窓口 -----	82
全ての設定を初期化する -----	68		
本製品のお取り扱いについて -----	70		
時計本体の防水性について -----	70		
時計本体、充電器、専用 AC アダプタの 使用、保管に際して -----	71		
こんなときは -----	74		

# 安全のために

この取扱説明書では、本製品をお使いになる人やその他の人への危害、財産の損害を未然に防止するための注意事項を記載しています。

ご使用の前に、この取扱説明書の内容をよくお読みいただき、ご理解のうえ、それぞれの注意事項を必ずお守りください。

## 警告表示の意味

■次の表示の区分は、表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

■次の絵表示の区分は、危険の内容を説明しています。



感電

指示を守らないと、感電の可能性があることを意味します



火災

指示を守らないと、火災や発火、発煙の可能性があることを意味します

## 時計本体、充電器、ACアダプタの取り扱いについて



### 警告

下記の注意を守らないと、火災や感電などによる死亡や重傷の原因となります。



感電



火災

- 充電に使用する充電器、ACアダプタは、本製品のものをお使いください。

本製品でないものを使用すると、発熱、発火、破裂などにより火災や機器の故障となるおそれがあります。

- 分解や改造をしないでください。

発火、感電などによる傷害または機器の故障の原因になります。

- 落としたり、投げつけたりなど強い衝撃を与えないでください。

発熱や発火、機器の故障の原因となります。

- 火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い所、サウナ、炎天下の車内などの高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないで下さい。

発火ややけど、機器の故障や変形、変色の原因となります。

- ガソリンスタンドなど引火性ガスの存在するおそれのある場所では、使用しないでください。

ガスに引火して爆発や火災の原因となります。

## 時計本体、充電器、ACアダプタの取り扱いについて



### 警告

下記の注意を守らないと、火災や感電などによる死亡や重傷の原因となります。

● 使用中、充電中、保管中に煙が出たり、異臭がしたり、過剰に発熱、変形、変色するなどの異常が起きたら直ちに使用を中止してください。

発火、感電などによる傷害または機器の故障の原因になります。

● 充電中は、水がかからないようにしてください。もし水がかかったときは、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

感電や回路のショートによる発熱・発火、機器の故障の原因となります。

● 電子レンジなどの電磁調理器、加熱調理機器や高圧容器などに、時計本体、充電器、専用ACアダプタを入れないでください。機器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

● 本書に記載の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。電池の漏液、破裂、発熱、発火の原因となります。

● 一般のごみと一緒に捨てないでください。発火や環境破壊の原因となります。詳しくは販売店かシチズンにお問い合わせ下さい。



感電



火災

## 時計本体の取り扱いについて



### 警告

下記の注意を守らないと、死亡や重傷の原因となります。

- 航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電波の発信を停止してください。

搭載電子機器や医用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電波の発信を停止してください。

電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれがあります（植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動車、自動ドアなど）。

- 心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。

心臓に悪影響を与える場合があります。心配がある場合には、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。

- 自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

- お子様の手の届かない所に保管してください。

いたずらをしてけがなどの原因となります。

## 時計本体の取り扱いについて



下記の注意を守らないと、軽傷をおったり周辺の家財に損害を与えることがあります。

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。
- 激しい運動や作業を行うときは、ご自身や第三者のけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- 着脱や調整の際に、バンドの中留めで爪や衣類を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。そのため、時計は常に清潔にしてください。

## 充電用機器（充電器、ACアダプタ）の取り扱いについて



### 警告

下記の注意を守らないと、火災、感電による死亡や重傷の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、専用ACアダプタをコンセントから抜いてください。

落雷による感電、機器の故障のおそれがあります。

- 本書で指定した電源・電圧で使用してください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や充電用機器の故障の原因となります。

- 専用ACアダプタをコンセントに差し込んだまま、ACアダプタのプラグをショートさせたり、手や指で触らないようにしてください。

火災、感電、充電用機器の故障の原因となります。



感電



火災

- 充電中は、布や布団などで覆ったり包んだりしないでください。

熱がこもって、火災や機器の故障の原因となります。

- ぬれた手で充電用機器やコンセントに触れないでください。

感電するおそれがあります。

- コードが傷ついたまでの使用はしないでください。

感電や発熱による火災の原因となります。

- 専用ACアダプタを使用するときは、根元まで確実に差し込んでください。

差し込み方が不十分であると、感電や発熱・発火による火災の原因になります。

## 充電用機器（充電器、ACアダプタ）の取り扱いについて



### 警告

下記の注意を守らないと、火災、感電による死亡や重傷の原因となります。



感電



火災

- 充電に使用しないまま長時間通電状態にしないでください。

発熱による火災や故障の原因となります。  
長時間使用しない場合は、専用ACアダプタをコンセントから抜いてください。

- 専用ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って引き抜いてください。

コードを引っ張るとコードの損傷によりショートし、感電や火災の原因となります。

- 充電器には本製品の時計本体以外のものをのせないでください。

発熱や発火、機器の故障の原因となります。

- 電源コードを加工したり、強くねじったり、引っ張ったり、その上に重い物を載せたりして傷つけないようにしてください。

感電やショートによる火災の原因となります。

- 専用ACアダプタのコードを束ねないでください。

発熱し、火災や機器の故障の原因となります。

## 充電用機器(充電器、ACアダプタ)の取り扱いについて



注意

下記の注意を守らないと、軽傷をおったり周辺の家財に損害を与えることがあります。

### ●充電は、安定した場所・状態で行ってください。

不安定な場所・状態で行うと、機器が落下してけがをしたり、機器を破損するおそれがあります。

# 使用上およびその他のご注意

## 個人情報の保護について

- 本製品は、氏名や電話番号などの個人情報を保存することができます。これらの情報の管理はお客様の責任のもとに行っていただきますようお願いします。万一、情報の漏洩が発生しましたも、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を紛失したときなどに、電話帳の内容を見られないように、パスキーの機能をご活用ください。 (⇒ P42)
- 本製品を譲渡するときなどは、あらかじめ電話帳のデータを消去（全ての設定を初期化 (⇒ P68)）してください。

## パスキーについて

- パスキーは、設定したご本人以外の人が、電話帳の閲覧、本製品の設定の変更等を行なえないようにするための暗証番号です。また、Bluetooth を使用して、携帯電話・PHS と本製品を接続するときには、携帯電話・PHS で入力する暗証番号 (PIN コード) としても使用します。
- パスキーは、わかりやすい番号は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- パスキーを忘れると、本製品のさまざまな操作ができなくなります。パスキーは忘れないよう注意してください。パスキーを忘れた場合には、全ての設定を初期化 (⇒ P68) してからご使用ください。

## その他

- NTT ドコモ FOMA サービスの「プッシュトーク」には対応しておりません。
- KDDI au サービスの「Hello Messenger」には対応しておりません。

## 商標およびライセンスについて

- 「FOMA」、「プッシュトーク」は株式会社 NTT ドコモの商標または登録商標です。
- 「au」、「Hello Messenger」は、KDDI 株式会社の商標または登録商標です。
- Bluetooth は、The Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。
- 本製品は、米国 Open Interface North America 社製 Bluetooth プロトコルスタック BLUEmagic®3.0 を搭載しております。BLUEmagic は Open Interface North America, Inc. の登録商標です。

# Bluetooth について

## Bluetooth の概要

Bluetooth とは、音声やデータをデジタル周辺機器間でケーブルを使わずに通信する無線技術です。比較的狭い範囲であれば障害物があっても通信が可能です。消費電力が小さいため、内蔵している携帯電話・PHS も増えつつあります。携帯電話・PHS での Bluetooth の活用例としては、通話や音楽を聴くためのワイヤレスのヘッドフォンなどがあります。

## Bluetooth のご注意

- 本製品の Bluetooth 機能は、日本国内でのみご使用ください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本製品と携帯電話・PHS は常に身近においてご使用ください。別々にご使用になると、Bluetooth 通信が切断され、ご利用できなくなります。
- 本製品は、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティに対応しておりますが、Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましたが、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は携帯電話・PHS との通信に Bluetooth を使っていいます。Bluetooth に対応していない携帯電話・PHS とは通信できません。
- 携帯電話・PHS の Bluetooth 機能の仕様によっては、本製品と通信できないことがあります。従って、全ての携帯電話・PHS との接続は保証できません。

- Bluetoothによる接続等の操作は、携帯電話・PHSによって異なります。詳しい仕様や操作については、お手持ちの携帯電話・PHSの取扱説明書をごらんください。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と移動体識別用の構内無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
- その他、本製品と特定小電力無線局との間に電波干渉が発生した場合など、ご不明な点につきましては、シチズンお客様時計相談室 (⇒ P82) へお問い合わせください。

## Bluetooth の周波数について

本製品の Bluetooth 機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



2.4 : 2400MHz 帯を使用する無線設備を表します。

FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。

1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。

 : 2400MHz~2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

●本製品ではハンズフリーサービスおよびオブジェクトプッシュサービスを利用した着信の通知を行います。

対応バージョン：Bluetooth 標準規格 Ver.1.2 準拠 <sup>※1</sup>

対応プロファイル <sup>※2</sup>：HFP（ハンズフリープロファイル）

OPP（オブジェクトプッシュプロファイル）

※ 1 本製品およびすべての Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器や特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※ 2 Bluetooth の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

## ●機能設定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。よって、本製品を使用する場合には無線局の免許は必要ありません。

また、本製品は以下のように電波法を定める技術標準認定も受けています。

認証機器名 : W700

TELEC 認証番号 : 001NYCA1352

従って、以下の行為を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本製品を分解および改造する
- ・本製品裏面の認証番号を消す

# 本書の見かた

- 本書では、機器を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを使用して説明しています。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の機器とは異なる場合があります。

本書において使用している説明書きの内容は、以下のようになっています。

## 〔使用上のご注意〕

操作、使用にあたって、お気をつけいただきたい内容、おぼえておいていただきたい内容を記載しています。

## 〔操作の前に〕

操作の概要や操作の前に必要な情報を記載しています。

## 〔Point〕

操作内容に関する補足説明を記載しています。

## (⇒P○○)

詳しく説明しているページ、参照いただきたいページを表しています。

# 本製品の構成

パッケージを開け、本製品の内容を確認してください。

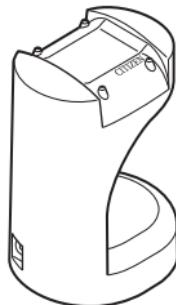
＜時計本体＞



＜専用 AC アダプタ＞



＜充電器＞

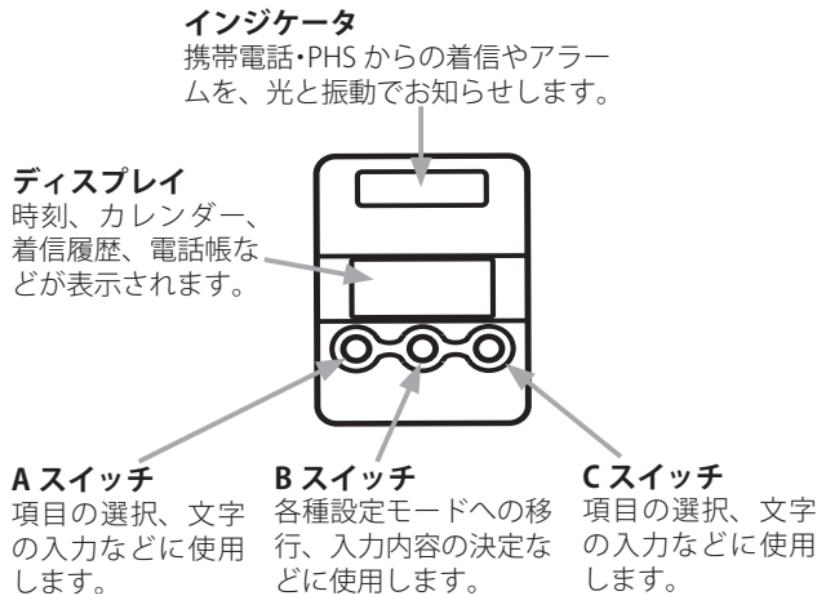


＜取扱説明書＞(本書)

＜保証書＞

# 各部の名称とはたらき

## < 時計本体 >



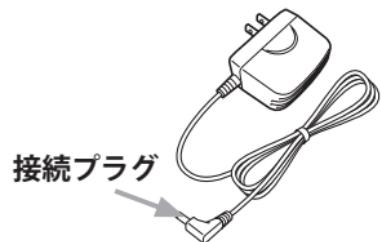
## < 充電器 > (⇒ P27)

時計を充電するときに使います。



## < 専用 AC アダプタ > (⇒ P27)

充電器に電源を供給します。



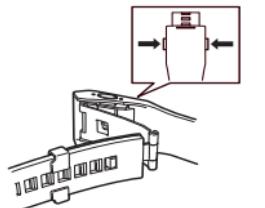
# ベルトの調整方法



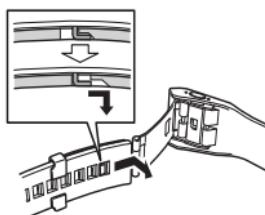
注意

- 着脱や調整の際に、バンドの中留めで爪や衣類を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

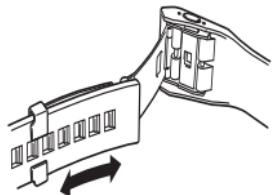
1 バックル部両側のボタンを押して、バックルを開きます。



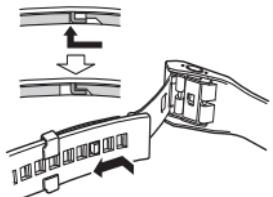
2 ベルトを（バックル側に）スライドさせ、フックから外します。



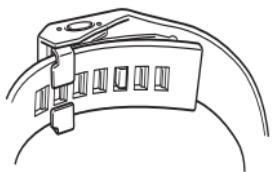
**3** ベルトの長さを調節します。



**4** ベルトをフックに引っ掛け、固定します。



**5** 腕に時計本体を通し、バックルを閉じて、長さを確認します。

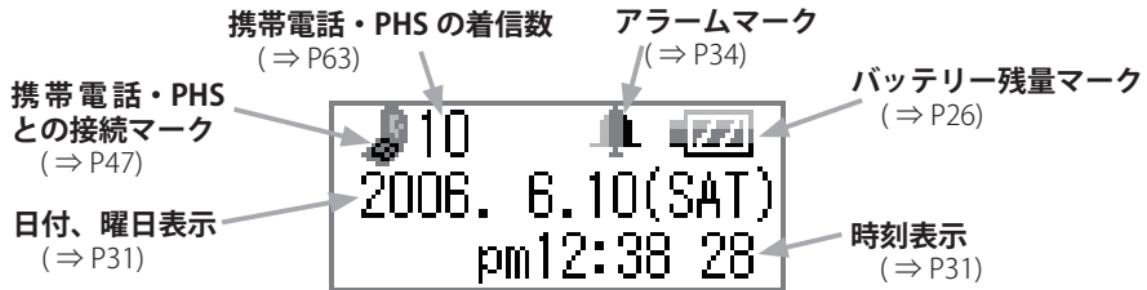


**[Point]**

再調整が必要な場合には、はじめから調整をやり直してください。

# 画面表示について

## 画面表示のみかた

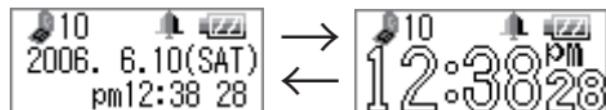


### [Point]

「携帯電話・PHS との接続マーク」、「アラームマーク」は設定が有効なときのみ表示されます。

## 表示を切り替える

- Bスイッチを押します。  
表示が切り替わります。



## 有機 EL ディスプレイについて

- 有機 EL ディスプレイは発光素子を使った表示であるため、夜間でも照明を必要とせず、鮮明な表示が可能です。しかしながら、その特性上、太陽光など画面に強い光が当たると見えにくくなる場合があります。
- 有機 EL ディスプレイは、見る角度等で明るさのむらが見える場合があります。これは、有機 EL ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 本製品のスイッチなどを操作しない状態が続くと、最後の操作から数秒後に、自動的にディスプレイの表示が消灯します（日付・時刻、アラーム、プロファイルの設定状態においては、タイトル画面に戻った後に消灯します）。有機 EL ディスプレイはその特性上、画面に同じ表示が続くと焼き付きが発生しやすいので、これを防止し不要な電池の消耗を防ぐための工夫です。  
ディスプレイの表示が消灯した状態から、ディスプレイを点灯させるときは A～C スイッチの、いずれかを押してください。

# 充電する

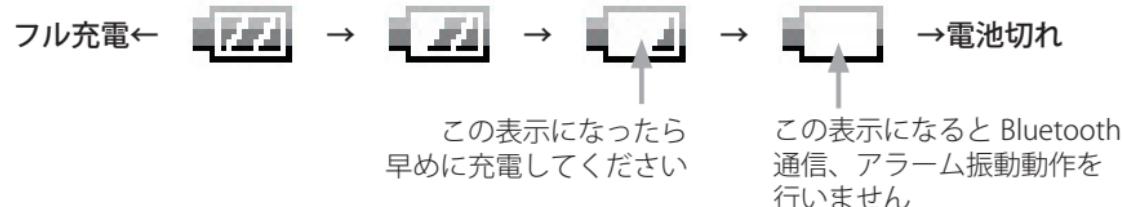
時計本体の内蔵電池を充電します。充電には、充電器と AC アダプタを使います。

## 〔使用上のご注意〕

充電器および AC アダプタは防水構造ではありません。充電器に結露が起きたと思われるときは、約 2 時間室温で放置してください。結露とは、温度の低いところから急に温度の高いところへ持ち込んだとき、充電器の表面および内部に水滴がつくことです。結露したまま使用すると、充電器および AC アダプタの故障の原因になります。

## 〔操作の前に〕

- 電池電圧が低下すると、通信・アラーム動作ができなくなります。バッテリー残量マークの表示をチェックして、早めに充電してください。
- 充電時間の目安は、電池切れの状態からフル充電まで、約 3 時間です。





## 警告

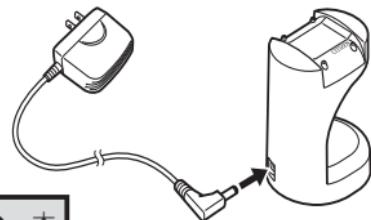
- 火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所、サウナや炎天下の車内などの高温になる場所、湿度やほこりの多い場所で使用しないで下さい。やけどや機器の故障、変形や変色の原因となります。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだまま、ACアダプタのプラグをショートさせたり、手や指で触らないようにしてください。火災、感電、機器故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、強くねじったり・引っ張ったり、その上に重い物を載せたりして傷つけないようにしてください。感電やショートによる火災の原因となります。
- コードが傷ついたままでの使用はしないでください。感電や発熱による火災の原因となります。
- ぬれた手で充電用機器やコンセントに触れないでください。感電するおそれがあります。
- 充電中は、布や布団などで覆ったり包んだりしないでください。熱がこもって火災や故障の原因となります。
- 充電中は、水がかからないようにしてください。もし水がかかったときは、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や回路のショートによる発熱・火災、機器の故障の原因となります。
- 充電中に煙が出たり、異臭がしたり、過剰に発熱、変形、変色するなどの異常が起きたら直ちに使用を中止してください。発火や破裂による傷害または故障の原因になります。
- 自動車などを運転中に操作しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

### 1 充電器のジャックにACアダプタの接続プラグを差します。



## 警告

- 充電に使用する充電器、ACアダプタは、本製品のものをお使いください。本製品でないものを使用すると、発熱、発火、破裂などにより火災や機器の故障となるおそれがあります。



## 2 ACアダプタをコンセントに差し込みます。

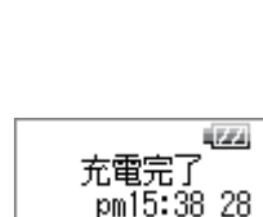


- ACアダプタを使用するときは、根元まで確実に差し込んでください。差し込み方が不十分であると、感電や発熱・発火による火災の原因になります。

- 指定した電源・電圧で使用してください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や充電用機器の故障の原因となります。

## 3 時計本体を充電器上部のプレートの中央に水平に置きます。

- 充電が始まると、画面に「充電中」の文字が出て、バッテリー残量マークが点滅します。
- A~Cスイッチのいずれかを押すと、時刻カレンダー表示に戻り、操作が可能です（操作しないまま放置すると、数秒後に自動的に充電画面に切り替わります）。
- 充電が終わると、バッテリー残量マークがフル充電表示となり「充電完了」と表示され、数秒後にディスプレイの表示が消灯します。
- 時計本体を充電器に乗せても表示が点灯しない場合は、充電切れの可能性があります。時計をリセットしてください。（⇒ P67）





## 警告

- 雷が鳴り出したら、ACアダプタをコンセントから抜いてください。落雷による感電、充電用機器の故障のおそれがあります。

- 充電器には本製品の時計本体以外のものをしないでください。発熱や発火、機器の故障の原因となります。

## 4 充電が終了したら、時計本体を充電器から外します。

### [Point]

充電終了後、充電器に乗せた状態でA~Cのいずれかのスイッチを押すか、時計本体を充電器から外すと、「充電完了」と表示され、その後A~Cのいずれかのスイッチを押すと時刻カレンダー表示に切り替わります。



## 警告

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
電池の漏液、破裂、発熱、発火の原因となります。

## 5 ACアダプタをコンセントから外します。



## 警告

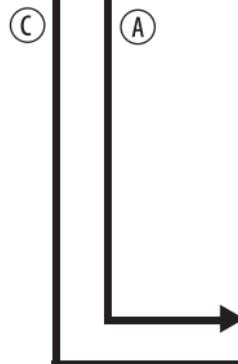
- 長時間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。発熱による火災や故障の原因となります。

# 設定モードの選択



<時刻カレンダー表示>

-  HF 接続 pm12:38 28 (B) → 携帯電話と接続する (⇒ P47)  
 着信履歴 pm12:38 28 (B) → 着信履歴を見る (⇒ P63)  
 0333/1000件 電話帳登録 pm12:38 28 (B) → 電話帳を登録する (⇒ P52)  
 0333/1000件 電話帳 pm12:38 28 (B) → 電話帳の内容を見る (⇒ P56)  
 am12:00 アラーム pm12:38 28 (B) → アラームを設定する (⇒ P34)  
 プロファイル pm12:38 28 (B) → プロファイルを設定する (⇒ P38)



# 時刻と日付を設定する



警告

●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

## 〔操作の前に〕

- 時刻や日付を設定中に電話の着信があると、着信が優先され、自動的に設定を終了します。通話が終了すると、時刻カレンダー表示に戻ります。着信前に入力した内容は保存されますが、追加で設定を行うときは、はじめから操作をやり直してください。
- 設定中にBスイッチを約2秒間押すと、設定を終了できます。
- 設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に設定状態を解除し、時刻カレンダーモードに戻ります。設定状態の解除前に入力した内容は保存されますが、追加で設定を行う場合は、はじめから操作をやり直してください。

- 1** Bスイッチを約2秒間押します。  
秒の表示が点滅します。



2006. 6.10(SAT)  
pm12:38 28

**2** AスイッチまたはCスイッチを押して点滅部分を設定します。

**[Point]**



2006. 6.10(SAT)  
pm12:38 28

- 秒の設定の場合には、AスイッチまたはCスイッチを押すと、0になります。
- 秒以外の設定のときは、スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。

**3** Bスイッチを押して入力内容を確定します。  
点滅部分が切り替わります。



2006. 6.10(SAT)  
pm12:38 28

**4** 手順**2~3**を繰り返し、その他の日付と時刻、12/24h制を設定します。

**[Point]**

2000~2099年までの西暦と月日を設定すると、曜日は自動的に設定されます。



**5** Bスイッチを押します。  
設定を終了し、時刻カレンダー表示に戻ります。



2006. 6.10(SAT)  
pm12:38 28

## うるう秒について

通常、一日は 24 時間 (86400 秒) となっています。しかし、地球の回転によって発生する時刻の誤差を補正する目的で、1 秒挿入もしくは削除される場合があり、これを「うるう秒」と呼びます。「うるう秒」が実施された場合には、標準時間に対して、時計が 1 秒進むもしくは遅れることになりますので、時刻を修正してください。

「うるう秒」は、世界各国の天文台の観測情報に基づき、英国のグリニッジ天文台を中心として、全世界一斉に実施されます。「うるう秒」の実施は、グリニッジ標準時で 12 月および 6 月 (第 1 優先)、3 月および 9 月 (第 2 優先)、必要とあれば任意の月の各末日とされており、いつ実施されるかは明確に決められていません。「うるう秒」が実施される場合には、少なくとも 8 週間前に官報公告されることになっていますので、新聞などでご確認ください。

# アラームを設定する



- 心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）に注意してください。心臓に悪影響を与える場合があります。心配がある場合には、電話着信、アラーム通知の停止、もしくは本製品の使用を中断してください。
- 自動車などを運転中に操作しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすことがあります。

## [操作の前に]

- アラームを設定中に電話の着信があると、着信が優先され、自動的に設定を終了します。通話が終了すると、時刻カレンダー表示に戻ります。着信前に入力した内容は保存されますが、追加で設定を行うときは、はじめから操作をやり直してください。
- アラームの設定中に、アラーム時刻になったときは通知しません。
- 設定中に B スイッチを約 2 秒間押すと、設定を終了できます。
- 設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に設定を解除し、タイトル画面に戻ります。設定状態の解除前に入力した内容は保存されますが、追加で設定を行う場合は、はじめから操作をやり直してください。

## アラーム通知動作

時刻カレンダー表示で、アラームマークを点滅させながら、振動と光でアラーム時刻を通知します。



### [Point]

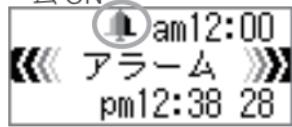
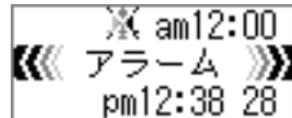
- アラーム通知は約 10 秒間行います。また、アラーム通知中に A、B、C のいずれかのスイッチを押すとアラーム通知を停止することができます。アラーム通知後は自動的に OFF となります。
- 各モードの設定状態ではアラーム通知を行いません。それ以外の状態（電話帳・着信履歴の閲覧時、各モードのタイトル画面等）では、強制的に時刻カレンダー表示に切り替わり、アラーム通知を行います。
- 着信時、通話時にアラーム設定時刻となった場合には、通話終了後にアラーム通知します。
- Bluetooth 接続操作中は、接続終了後にアラーム通知します。

## アラームの ON/OFF を切り替える

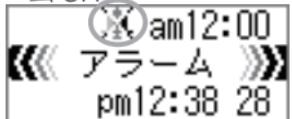
- 1 AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、アラーム設定画面を表示します。

- 2 Bスイッチを押します。

Bスイッチを押すたびに、アラームの ON/OFF が切り替わります。アラームを OFF にすると、時刻カレンダー表示では「アラームマーク」は表示されません。



アラーム OFF

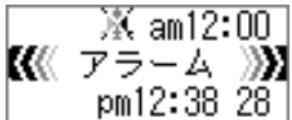


## アラームの時刻を設定する

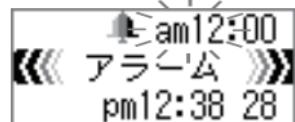
### [操作の前に]

アラームは、初期設定では OFF になっています。アラームの時刻を設定する画面を表示すると、アラームが自動的に ON に設定されます。

- 1 AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、アラーム設定画面を表示します。



**2** Bスイッチを約2秒間押します。  
時の表示が点滅します。

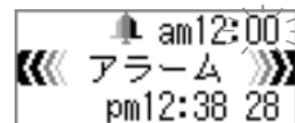


**3** AスイッチまたはCスイッチを押して時を設定します。  
[Point]



スイッチを押したままにすると、数値が早く切り替わります。

**4** Bスイッチを押して設定内容を確定します。  
点滅部分が切り替わります。

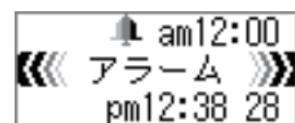


**5** AスイッチまたはCスイッチを押して分を設定します。  
[Point]



スイッチを押したままにすると、数値が早く切り替わります。

**6** Bスイッチを押します。  
設定を終了し、アラーム設定画面に戻ります。



# プロフィールを設定する

下記のさまざまな設定をします。これらの設定は以下の順序で、一連の操作で設定します。一部の項目だけを設定するときは、設定したい項目の設定画面が表示されるまで、繰り返し B スイッチを押してください。

- ・ペットネーム：携帯電話・PHS 上で他の Bluetooth 機器と区別するために、時計本体につける愛称を設定します。  
↓
- ・パスキー：本製品に保存された内容を保護するための PIN コードを設定します。  
↓
- ・発信者名表示：携帯電話・PHS の着信時の発信者名の表示 / 非表示を切り替えます。  
↓
- ・着信操作：着信時の応答操作の簡易 / 拡張を切り替えます。

## [操作の前に]

- 携帯電話・PHS と接続されている間は、プロフィールの設定・変更はできません。プロフィールの設定・変更を行うときは、携帯電話・PHS 側を操作して、接続を切断してから行ってください。
- 設定中に B スイッチを約 2 秒間押すと、設定を終了し、プロフィール表示画面に戻ります。
- 設定中にスイッチ操作をしないまま数分間放置すると、自動的に設定を解除し、プロフィール表示画面に戻ります。設定状態の解除前に入力した内容は保存されますが、追加で設定を行う場合は、はじめから操作をやり直してください。

## ペットネームを設定する

ペットネームとは、他の Bluetooth 機器と区別するために、時計本体につける愛称のことです。ペットネームを見分けることで、他の Bluetooth 機器と接続するときに識別がしやすくなります。最長 16 行の半角英数字で好きな名前を付けられます。ペットネームは、初期設定 (⇒ P78) では「iVIRT W700」となっておりますので、お好きな名前を設定してください。



●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

- 1 AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、プロファイル画面を表示します。
- 2 Bスイッチを押します。

最上段にペットネームが表示されます。

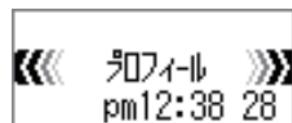
### [Point]

- ペットネーム以外に表示される項目は次のとおりです。

PA：パーソナルアドレス。Bluetooth 接続する際の本製品のアドレスです。

SN：シリアルナンバー。機器固有の番号です。

- ペットネーム以外の項目は変更できません。



### 3 Bスイッチを約2秒間押します。



### 4 パスキーを入力します。(⇒ P46)

#### [Point]

- パスキー・ロック(⇒ P42)が不使用に設定されているときは、パスキーを入力する必要はありません。また、パスキー・ロックは、初期設定(⇒ P78)では不使用になっています。
- パスキー・ロックが不使用に設定されているときは、3の操作のあとすぐに、ペットネームの1文字目が点滅します。

パスキーを入力  
してください

### 5 AスイッチまたはCスイッチを押して、最初の桁を変更します。

#### [Point]



iVIRT W700  
PA:0123456789AB  
SN:00606100

- スイッチを押したままにすると英数字が早く切り替わります。

- スイッチを押すたびに、下記のように内容が変わります。

▶ (ブランク) → 数字 → アルファベット小文字 → アルファベット大文字

**6** Bスイッチを押すと、入力内容を確定し、次の桁が点滅します。



IVIRT W700  
PA:0123456789AB  
SN:00606100

**7** 5~6を繰り返し、16桁まで設定します。

[Point]

文字の入力が不用な箇所はBスイッチを押して、次の桁に移動してください。

## パスキー、パスキー・ロックの使用 / 不使用を設定する

本製品のさまざまな設定やデータを保護するために、数字4桁のパスキーを設定できます。また、パスキーは携帯電話・PHSとBluetooth通信をするときに必要となる、PINコードとしても使用します。



### 警告

- 自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

### [使用上のご注意]

- 本製品は、氏名や電話番号などの個人情報を保存することができます。これらの情報の管理はお客様の責任のもとに行っていただきますようお願いします。万一、情報の漏洩が発生しても、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 個人情報保護の観点から、できるだけパスキーを設定してください。
- パスキーは、わかりやすい番号は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- パスキーを忘れるとき、本製品のさまざまな操作ができなくなります。パスキーは忘れないように注意してください。パスキーを忘れてしまったときは、全ての設定を初期化し(⇒P68)、設定を工場出荷状態に戻してご使用ください。

### (ペットネームの設定からの続きで操作します)

直接パスキーを設定するときも、「プロフィールを設定する」のはじめから操作をしてください。

- 1** AスイッチまたはCスイッチを押して、パスキー・ロックの使用 / 不使用を選択します。

[Point]

パスキー・ロック不使用を選択しても、携帯電話・PHSとBluetooth接続する際にPINコードとして必要となります。



パスキー・ロック
使用 / 不使用
1234

- 2** Bスイッチを押すと、パスキー設定に移ります。

- 3** AスイッチまたはCスイッチを押して、最初の桁を変更します。

[Point]

スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。



パスキー・ロック
使用 / 不使用
1234



- 4** Bスイッチを押して、入力内容を確定し、次の桁に移ります。

- 5** 3~4を繰り返し、4桁まで設定します。

- 6** Bスイッチを押します。



パスキー・ロック
使用 / 不使用
1234

## 電話着信時の発信者名の表示 / 非表示を設定する

携帯電話・PHS に着信があったときの、発信者名の表示 / 非表示を切り替えます。（着信したときの表示（⇒ P60））



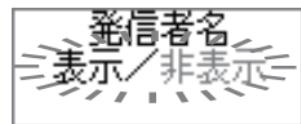
●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

### （パスキーの設定の続きで操作します）

直接「発信者名の表示 / 非表示」を設定するときも、「プロフィールを設定する」のはじめから操作をしてください。

**1** AスイッチまたはCスイッチを押して、発信者名の表示 / 非表示を選択します。



**2** Bスイッチを押します。

## 着信操作の簡易 / 拡張を設定する

携帯電話・PHS に着信があったときのスイッチの操作方法 (⇒ P61) を変更します。

**簡易設定**：着信時の対応を簡略化し、携帯電話・PHS の保留もしくは拒否の操作ができます。

**拡張設定**：携帯電話・PHS の保留、拒否、通話の全ての操作ができます。



警告

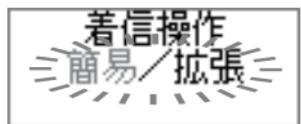
●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

### (発信者名の表示 / 非表示の設定の続きで操作します)

直接「着信操作の簡易 / 拡張」を設定するときも、「プロフィールを設定する」のはじめから操作をしてください。

- 1 A スイッチまたは C スイッチを押して、着信操作の簡易 / 拡張を選択します。



- 2 B スイッチを押します。  
設定を終了し、プロフィール表示画面に戻ります。



# パスキーを入力する

- 1** AスイッチまたはCスイッチを押して、パスキーを入力します。

**[Point]**

スイッチを押したままにすると、数字が早く切り替わります。



- 2** Bスイッチを押して、入力した内容を確定し、次の桁に移ります。



- 3** 1~2を繰り返し、4桁まで設定します。

- 4** Bスイッチを押して、最終確定します。



# 携帯電話・PHS と接続する

Bluetooth に対応した携帯電話・PHS と本製品を接続し、本製品と携帯電話・PHS を連携させる準備をします。

## 〔使用上のご注意〕

- 本製品は携帯電話・PHS との通信に Bluetooth を使っています。Bluetooth に対応していない携帯電話・PHS とは通信できません。
- Bluetooth 関係の操作は、携帯電話・PHS によって異なります。詳しい仕様や操作については、お手持ちの携帯電話・PHS の取扱説明書をごらんください。
- 携帯電話・PHS の Bluetooth 機能の仕様によっては、本製品と通信できないことがあります。
- 本製品は、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティに対応しておりますが、Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しました、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本製品と移動体識別用の構内無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

- その他、本製品と特定小電力無線局との間に電波干渉が発生した場合など、ご不明な点につきましては、シチズンお客様時計相談室(⇒P82)へお問い合わせください。

## 携帯電話・PHS に本製品を登録する



- 自動車などを運転中に操作しないでください。  
注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電波の発信を停止してください。搭載電子機器や医用電気機器に悪影響を与えるおそれがあります。

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電波の発信を停止してください。電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれがあります(植込み型の心臓ペースメーカー、除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動車、自動ドアなど)。

### [操作の前に]

- 携帯電話・PHS 側の操作については、お手持ちの携帯電話・PHS の取扱説明書をごらんください。
- すでに携帯電話・PHS と接続している状態では、HF(ハンズフリー)接続画面は表示されません。

- 1 AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、HF(ハンズフリー)接続画面を表示します。



- 2** Bスイッチを押します。  
画面が切り替わります。



接続待ち  
VIRT W700  
PA:0123456789AB

- 3** 携帯電話・PHS を操作して接続します。

この操作は、携帯電話・PHS で行います。携帯電話・PHS の操作については、お手持ちの携帯電話・PHS の取扱説明書をごらんください。

### 携帯電話・PHS の操作の一例

- 1 Bluetooth 接続メニューを選択します。
- 2 初期登録メニューを選択します。
- 3 接続できる機器をサーチします。
- 4 機器一覧から、本製品を選択します。
- 5 本製品のパスキーを入力します。
- 6 登録を終了します。

## [Point]

- 登録できる機器が複数表示されたときは、本製品のディスプレイに表示されるペットネームまたはパーソナルアドレスを、携帯電話・PHS から選んでください。
- 本製品のパスキーの初期値は「1234」です。
- 携帯電話・PHS と接続が完了すると、画面に「接続完了！」と表示され、本体が振動して、その後自動的に時刻カレンダー表示に戻ります。
- 携帯電話・PHS と接続すると時刻カレンダー表示で「携帯電話・PHS との接続マーク」が表示されます。(⇒ P24)

接続待ち  
ペットネーム  
VIRT W700  
パーソナル  
アドレス  
PA:0123456789AB

接続完了！

## 再接続について

- 携帯電話・PHS に本製品を登録した後、本製品と携帯電話・PHS の距離が離れたり、どちらかの電源が切れる、携帯電話・PHS から接続を解除するなどすると、本製品との接続が切れます。
- 接続が切れると表示と振動で通知します。
- 本製品と携帯電話・PHS の接続が切れると、自動的には再接続されません。
- 本製品と携帯電話・PHS との接続が切れたときは、再度、登録または携帯電話・PHS による接続の操作を行ってください。



## 携帯電話・PHS と本製品の接続を解除する

本製品を一時的に使用しないときなど、携帯電話・PHS と本製品の接続を解除するときは、携帯電話・PHS 側で操作します。携帯電話・PHS の操作については、お手持ちの携帯電話・PHS の取扱説明書をごらんください。

## 携帯電話・PHS から本製品の登録情報を削除する

本製品を使用しなくなったときなど、携帯電話・PHS に登録された本製品の情報を削除するときは、携帯電話・PHS 側で操作します。携帯電話・PHS の操作については、お手持ちの携帯電話・PHS の取扱説明書をごらんください。

# 電話帳を登録する

携帯電話・PHS の電話帳のデータを本製品に登録します。本製品に電話帳を保存しておくと、着信時に発信者名を表示することができます。

## 〔使用上のご注意〕

- 本製品は、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティに対応しておりますが、Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、当社としては責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 個人情報保護の観点から、本機能のご使用はできるだけパスキーを設定した後に行ってください。

## 〔操作の前に〕

- 電話帳の転送には、比較的大きな電力を必要としますので、動作の安定性確保のため、フル充電状態で行ってください。なお、できるだけ充電器上で行うことをお勧めします。
- 携帯電話・PHS と本製品を HF 接続していると、電話帳データを転送できません。一度、HF 接続を解除してから電話帳データの転送を行ってください。(⇒ P51)
- 本製品に保存できる件数は、約 1000 件です。電話帳の内容によっては、受信できる件数が 1000 件より少なくなることもあります。すべての電話帳データを本製品に転送できないときは、携帯電話側の設定で、送信する件数を減らしてください。
- 本製品には画像データは保存できません。携帯電話・PHS から電話帳のデータを転送するときは、画像データと一緒に送信しないでください。データ受信に必要以上の時間がかかったり、誤動作の原因となるおそれがあります。

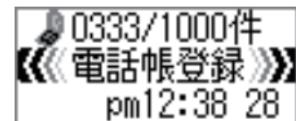
## ⚠ 警告

●自動車などを運転中に操作しないでください。  
注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれ  
があります。

●航空機内や病院など、使用を禁止されている区  
域では電波の発信を停止してください。搭載電  
子機器や医用電気機器に悪影響を与えるおそれ  
があります。

●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器  
の近くでは、電波の発信を停止してください。  
電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれ  
があります（植込み型の心臓ペースメーカーや  
除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火  
災報知器、自動車、自動ドアなど）。

1 AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、電話帳登  
録画面を表示します。



2 Bスイッチを押します。  
電話帳の転送画面が表示されます。



- 3** AスイッチまたはCスイッチを押して、「追加」または「全件」を選択します。

**[Point]**

「追加」は、それまで登録されていた電話帳に新しいデータを追加します。「全件」は、それまで登録されていた電話帳をすべて書き換えます。



- 4** 携帯電話・PHS を操作して、電話帳のデータを転送します。

「追加受信待ち」または「全件受信待ち」が表示されたら、携帯電話・PHS を操作して、電話帳のデータを送信します。携帯電話・PHS の操作については、お手持ちの携帯電話・PHS の取扱説明書をごらんください。

追加受信待ち  
iVIRT W700  
PA:0123456789AB

全件受信待ち  
iVIRT W700  
PA:0123456789AB

**携帯電話・PHS の操作の一例**

- 1 Bluetooth 転送メニューを選択します。
- 2 電話帳転送メニューを選択します。
- 3 転送する内容を選択します。
- 4 電話帳を転送します。

- 5 アニメーションが表示されます。バーが一杯になり、転送が完了したことを確認します。  
時刻カレンダー画面に戻ります。

**[Point]**

- 受信に失敗すると、メッセージが表示されます。受信に失敗したときは、携帯電話・PHS での操作をやり直してください。
- 一部の携帯電話・PHS では、送信するデータサイズを通知しないものがあり、バー表示による受信状況の確認が出来ません。この場合、受信開始時から 0% 表示のままとなり、終了時に 100% と表示されます。詳しくはシチズン i:VIRT ホームページ (<http://citizen.jp/ivirt/>) をご覧ください。
- 本製品の最大電話帳登録件数は 1000 件です。これを超えた場合は登録されません。携帯電話・PHS 側で 1000 件以下となるように選択して登録をお願いします。



受信に失敗しました

# 電話帳の内容を見る

本製品に保存されている電話帳の内容を見ることができます。



警告

- 自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

## [使用上のご注意]

- 個人情報保護の観点から、本機能のご使用はできるだけパスキーを設定した後に行ってください。
- 本機能を使用した後、スイッチ入力をしないまま数秒間放置すると消灯状態に、数分間放置すると時刻カレンダー表示に移行しますが、個人情報保護の観点から、本機能の使用後できるだけすぐに、Bスイッチを押して時刻カレンダー表示に移行していただくことをお勧めします。

## [操作の前に]

電話帳の名前の項目で表示できるのは、全角8文字、半角16文字までです。

**1** AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、電話帳画面を表示します。



**2** Bスイッチを押します。

[Point]

電話帳が1件も登録されていない場合は、表示は切り替わりません。

**3** パスキーを入力します。(⇒P46)

電話帳の内容の一覧が表示されます。

[Point]

パスキー・ロック(⇒P42)が不使用に設定されているときは、パスキーを入力する必要はありません。

4 AスイッチまたはCスイッチを押して、電話帳内の登録名を選択します。

登録名を選択すると、自動的に詳細を表示します。

[Point]

●Aスイッチで下方向に、Cスイッチで上方向に移動します。

●名前の表示は、携帯電話に登録されていた読み仮名の50音順です。

5 Bスイッチを押します。

設定が終了し、1の電話帳画面に戻ります。



シチズン 花子
シチズン 太郎
青歯 天使

登録番号

登録件数

NO.0002/0333
シチズン太郎
09012345678

登録名

電話番号



## 電話帳を消去する



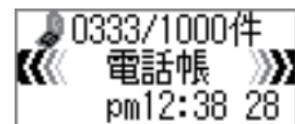
●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

### [使用上のご注意]

この操作を充電器上で行わないでください。充電器上で操作すると、時刻、アラームなどの設定内容がリセットされます。

**1** AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、電話帳画面を表示します。



**2** Bスイッチを押します。



**3** パスキーを入力します。 (⇒ P46)

#### [Point]

パスキー・ロック (⇒ P42) が不使用に設定されているときは、パスキーを入力する必要はありません。

**4** AスイッチとCスイッチを同時に約2秒間押します。

電話帳が消去され、電話帳画面に戻ります。

# 携帯電話・PHS の着信に対応する

電話の着信があると、時計本体が光と振動と画面表示で知らせます。発信者の名前を表示するには、電話帳の登録が必要です。



## 警告

- 自動車などを運転中に操作しないでください。注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電波の発信を停止してください。搭載電子機器や医用電気機器に悪影響を与えるおそれがあります。

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電波の発信を停止してください。電子機器が誤作動するなどの影響を与えるおそれがあります（植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器、補聴器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動車、自動ドアなど）。

## 着信したときの表示（着信時の発信者名の表示 / 非表示を設定する⇒ P44）

### ■発信者名を非表示に設定しているとき

- 「電話着信中」表示のみが表示され、発信元は表示されません。
- A、B、Cのいずれかのスイッチを押すと、着信の内容が表示されます。

### ■発信者名を表示に設定しているとき

- 着信の内容が表示されます。
- 同一の電話番号で複数の名前があるときは、最後に登録した名前が表示されます。



## 着信に対応する（着信操作の簡易 / 拡張を設定する⇒ P45）

### 〔操作の前に〕

携帯電話・PHS に保留の機能がない場合には、保留できません。

**簡易設定**：着信時の対応を簡略化し、携帯電話・PHS の保留もしくは拒否の操作ができます。

**拡張設定**：携帯電話・PHS の保留、拒否、通話の全ての操作ができます。

### ■簡易設定の場合の対応

#### ◇保留する

- 1 着信中に A、B、C のいずれかのスイッチを押します。  
画面に「保留中」と表示され、通話が保留状態になります。



保留中...  
シチズン 花子  
09012345678

- 2 携帯電話・PHS の通話ボタンを押します。  
通話できます。

通話中...  
シチズン 花子  
pm12:38 28

#### 〔Point〕

保留中に A、B、C いずれかのスイッチを約 2 秒間押すと、通話を拒否できます。

#### ◇拒否する

- 着信中もしくは保留中に A、B、C のいずれかのスイッチを約 2 秒間押します。  
画面に「切断中」と表示され、通話を拒否します。



切断中...  
シチズン 花子  
pm12:38 28

## ■拡張設定の場合の対応

### ◇保留する

#### 1 着信中に B スイッチを押します。

画面に「保留中」と表示され、通話が保留状態になります。



保留中...  
シチズン 花子  
09012345678

#### 2 携帯電話・PHS の通話ボタンを押す。

通話できます。

#### [Point]

A スイッチを押すと、保留中に通話を拒否できます。

### ◇拒否する

#### 1 着信中もしくは保留中に A スイッチを押します。

#### 2 もう一度 A スイッチを押します。

画面に「切断中」と表示され、通話を拒否します。



切断準備  
シチズン 花子  
再操作で切断

切断中...  
シチズン 花子  
pm12:38 28

### ◇通話する

#### 着信中に C スイッチを押します。

画面に「通話中」と表示され、通話状態になります。



通話中...  
シチズン 花子  
pm12:38 28

# 着信履歴を見る

着信履歴の表示とクリアのしかたについて説明します。

## 〔使用上のご注意〕

- 個人情報保護の観点から、本機能のご使用はできるだけパスキーを設定した後に行ってください。
- 本機能を使用した後、スイッチ入力をしないまま数秒間放置すると消灯状態に、数分間放置すると時刻カレンダー表示に移行しますが、個人情報保護の観点から本機能の使用後できるだけすぐに、Bスイッチを押して時刻カレンダー表示に移行していただくことをお勧めします。

## 〔操作の前に〕

- 発信者の名前を表示するには、電話帳の登録が必要です。(⇒P52)
- 着信履歴は、その日の最新の10件が保存されます。
- 着信履歴は日付が変わると自動的に消去されます。また、日付を変更した場合も同様に消去されます。
- 着信履歴がないときは、着信履歴は表示されません。
- 同一番号から連続して着信があったときは、最新の1件が表示されます。

## 着信履歴を表示する



●自動車などを運転中に操作しないでください。  
注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

- 1 AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、着信履歴画面を表示します。

[Point]

未応答の着信履歴があるときは、着信件数の表示が点滅します。

- 2 Bスイッチを押します。

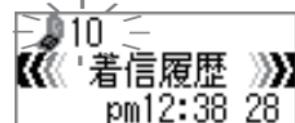
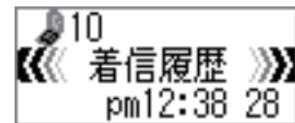
- 3 パスキーを入力します。(⇒P46)

着信履歴が表示されます。

[Point]

●パスキー・ロック(⇒P42)が不使用に設定されているときは、  
パスキーを入力する必要はありません。

●未応答の着信履歴は反転して表示されます。



4 AスイッチまたはCスイッチを押して、他の着信履歴を表示します。

着信履歴を選択すると、自動的に詳細が表示されます。



1. シチズン 花子
2. シチズン 太郎
3. 09012345678

7. 2 am 2:45
シチズン太郎
09012345678

5 Bスイッチを押します。

着信履歴画面に戻ります。



## 着信履歴を消去する

### 〔使用上のご注意〕

この操作を充電器上で行わないでください。充電器上で操作すると、時刻、アラームなどの設定内容がリセットされます。



警告

●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

**1** AスイッチまたはCスイッチを何度か押して、着信履歴画面を表示します。



**2** Bスイッチを押します。



**3** パスキーを入力します。 (⇒ P46)

[Point]

パスキー・ロック (⇒ P42) が不使用に設定されているときは、パスキーを入力する必要はありません。

**4** AスイッチとCスイッチを同時に約2秒間押します。

着信履歴が消去され、着信履歴画面に戻ります。



# 設定をリセットする

## 〔操作の前に〕

●充電器の取り扱いについては、充電する(⇒P26)をごらんください。

●充電が不足しているとリセット操作を完了できない場合があります。

右の画面で動作が停止したときは、充電不足ですので、十分に充電されるまでしばらくお待ちください。充電されると、自動的にリセットを行います。リセット後は、「充電中」と表示されます。(⇒P28)



## 時計をリセットする

日時、12/24h設定、アラームおよび着信履歴件数をリセットします。



●自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

1 本製品を充電状態にします。(⇒P26)

2 時計本体を充電器に乗せたまま、AスイッチとCスイッチを同時に押します。

設定がリセットされます。



## 全ての設定を初期化する



警告

- 自動車などを運転中に操作しないでください。

注意が散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

### [操作の前に]

- この操作を行うと、全ての設定が初期化され、工場出荷状態（初期設定（⇒ P78））に戻ります。また、登録した電話帳も消去されます。
- 全ての設定の初期化には、比較的大きな電力を必要とするので、動作の安定性確保のため、フル充電状態で行ってください。なお、できるだけ充電器上で行うことをお勧めします。

### 1 本製品を充電状態にします。（⇒ P26）



- 2** 時計本体を充電器に乗せたまま、AスイッチとCスイッチを同時に押します。  
「初期化中」と表示されます。



初期化中…

- 3** Cスイッチを5秒以上押し続けます。  
「設定を消去します」と表示されます。



設定を消去します  
中止 設定 実行  
REV 初期化 FWD

**[Point]**

- AスイッチとCスイッチを同時に押したあとに、Cスイッチを押したままAスイッチを離して5秒以上待つと、**2**、**3**の操作が入力しやすくなります。
- 初期化を行わない場合には、Aスイッチを押して中止します。

- 4** Cスイッチを押します。  
「設定消去中」と表示され、消去が開始されます。



設定消去中…

**[Point]**

初期化を実行した場合、中止した場合のいずれの場合でも、画面が青くなります。この間にスイッチを押すと、時刻カレンダーモードに戻ります。画面が青くなった状態で数分間放置すると、自動的に時刻カレンダーモードに戻ります。



# 本製品のお取り扱いについて

## 時計本体の防水性について

時計の裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。

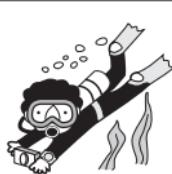
名称 : 日常生活防水

表示(文字盤) : 無表示

表示(ケース(裏ぶた)) : WATER RESIST(ANT)

仕様 : 3気圧防水

### 使用例



水がかかる程度の使  
用(洗顔、雨など)

水仕事や、一般水泳  
に使用

スキンダイビング、マ  
リンスポーツに使用

空気ボンベを使用する  
スキューバ潜水に使用

水滴がついた状態で  
のボタンの操作



## 時計本体、充電器、専用 AC アダプタの使用、保管に際して

### <水分について>

- 水分のついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えない時はそのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社サービスセンターへ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、ボタンなど）が外れる危険があります。

### <着脱時について>

#### △注意

- 着脱や調整の際に、バンドの中留めで爪や衣類を傷つけるおそれがありますのでご注意ください。

### <携帯時について>

#### △注意

- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じことがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

かぶれの原因は、

1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。



注意

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。



注意

- 激しい運動や作業を行うときは、ご自身や第三者のけがや事故防止のため、十分ご注意ください。



警告

- 火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い所、サウナ、炎天下の車内などの高温になる場所、湿気やほこりの多い場所では、使用、保管、放置しないで下さい。発火ややけど、機器の故障、変形や変色の原因となります。

- ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

#### <お手入れについて>

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。そのため、時計は常に清潔にしてください。

- 汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。

- バンドのすき間につまつたゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

- 溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

#### <温度について>

- 0°C～50°Cから外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。

## ＜磁気について＞

- 磁気には近づけないでください。磁気健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア・バックの止め具、携帯電話・PHSのイヤホン部など、磁気に近づけると時計が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をしなおしてください。

## ＜静電気について＞

- クオーツウォッチに使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。テレビ画面などの強い静電気を受けると表示が狂うことがありますのでご注意ください。

## ＜ショックについて＞

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

## ＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

## ＜保管について＞

- 長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

# こんなときは

現象	考えられる原因	対処方法	参照ページ
表示が点灯しない	消灯モードになっている 充電不足により動作が停止している	A・B・Cのいずれかのスイッチを押してください 本製品を充電器に装着した状態で、リセット操作をしてください	25 67
バイブレータが振動しない インジケーターが点灯しない	充電不足により、機能制限が作動している	本製品を充電器に装着し、十分に充電をしてください	26
設定のリセットが完了できない		本製品を充電器に装着し、十分に充電をしてください。自動的に設定リセットが完了します。	26
充電ができない	本製品が充電器に正しく装着されていない ACアダプタや充電器の接続が正しくない	本書の内容をごらんになり、正しく装着してください 本書の内容をごらんになり、正しく接続してください	26 26
携帯電話・PHSの保留操作ができない	携帯電話・PHS機側に保留操作機能がない	保留操作のできない携帯電話・PHSではご利用できません ただし、通話や拒否の操作は可能です	61
パスキーを忘れてしまった		全ての設定を初期化してください	68

現象	考えられる原因	対処方法	参照ページ
HF 接続できない 電話帳転送できない	他の無線機器との電波干渉が考えられます	使用場所を変えてご使用ください	17
	別の Bluetooth 機器に接続しようとしている	お使いの本製品のペットネームとパーソナルアドレスを確認の上、携帯電話・PHS 側で正しく接続してください	38, 47
	PIN コード入力を間違えている	携帯電話・PHS 側で正しい PIN (本製品のパスキー) コードを入力してください	38
	機器登録のできる一部の携帯電話・PHS をご使用の場合に、本製品で 100 機を超える携帯電話・PHS と接続し、本製品内部の古い機器との接続情報がクリアされた	携帯電話・PHS 機側で本製品の登録情報を削除し、もう一度機器検索を行い再登録してご使用ください	47, 51
電話帳転送で容量オーバーと表示される	受信する登録数が 1000 件を超えている 	そのまま送ると、1000 件を超えた件数は登録されません これを防ぐには、携帯電話・PHS 機側で、1000 件以内に収まるように選択して転送してください	52

# 保証とアフターサービスについて

## 1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い無料修理いたします。

## 2. 修理用部品の保有期間について

弊社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常 7 年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 3. 修理可能期間について

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

## 4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口 (⇒ P82) にご相談ください。

## 5. 定期点検(有償)について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度、点検(有償)を行ってください。

防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。

部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口(⇒P82)にご相談ください。

## 6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口(⇒P82)にご相談ください。

※この時計の全てのアフターサービスは「メーカー修理」となります。弊社以外でのアフターサービスに関しては一切責任を負いかねます。

# 初期設定一覧

初期設定は以下の通りです。初めてご使用になる場合、設定の初期化を行った場合には、必要な項目を設定の上、ご使用ください。

日時	： 2006.1.1(SUN) am 12:00 00
12/24h 設定	： 12h 制
アラーム	： OFF
ペットネーム	： iVIRT W700
パスキー	： 1234
パスキー・ロック	： 不使用
着信時の発信者名表示	： 表示
着信操作簡易 / 拡張	： 簡易
着信履歴件数	： 0 件

# MEMO

# 仕様

## 本体

機種名	W700
表示	有機 EL(96 × 39 ドット )
水晶振動数	32,768Hz / 18.4320MHz (Hz=1 秒間の振動数 )
時計作動温度範囲	0°C ~+50°C
時間精度	平均月差± 30 秒 ( 常温 +5°C ~35°C 携帯時 )
重さ	約 55g
使用電池	二次電池
充電方式	電磁誘導式

## 充電器

機種名	CMUT-05
使用・保存環境	温度 +10°C ~+40°C 湿度 20%~80%(結露なきこと)
電源	DC12V(ACアダプタ使用)
サイズ	幅 6.5cm × 奥行 7.5cm × 高さ 10.3cm
本体重量	約 133g(ACアダプタを除く)

## 専用 AC アダプタ

機種名	DSA-0051-12CFJP 12013F
使用・保存環境	温度 +10°C ~+40°C 湿度 20%~80%(結露なきこと)
電源	AC100V~240V
サイズ	幅 3.0cm × 奥行 5.4cm × 高さ 4.0cm
本体重量	約 70g